

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 警察庁科学警察研究所 法科学第一部
部付主任研究官 関口 和正 先生
2. 演題 DNA 鑑定の現状と今後の展望
3. 日時 令和元年11月5日(火)17:00~19:00
4. 場所 歯科棟南4階 歯学部特別講堂

5. 要旨

DNA 型鑑定は、全国の科学捜査研究所や警察庁において、毎年 30 万件以上実施され、その鑑定結果は関係者を特定するための強力なツールとして捜査で活用され、公判でも重要な証拠資料となっている。本年から新たに導入した鑑定方法を用いると、日本人における最も出現頻度の高い型の組み合わせは、従来の 4.7 兆から 565 京人に 1 人という非常に高い識別力となる。海外では DNA の持つ表現型や親族関係の情報を活用した捜査手法も始まっている。

連絡先： 櫻田 宏一 (法歯学分野 内線 4387)